

平成 26 年度 学校評価書

1 今年度の学校の重点的な取り組み

下記の 3 点を本年度の重点課題とし、教育活動を充実させ教育目標達成を目指した。

(1)基礎学力の向上

(2)生活指導の充実

(3)豊かな心の育成

(1) 基礎学力向上のために

- ①授業時数の確保(実施時数の確保、特に教科指導時数の確保)
- ②少人数授業の展開……算数、授業補助者の活用、学生ボランティアの活用
- ③「分かる授業」のための工夫・改善
授業規律、指導計画、週案、教材教具の工夫、適切な評価の計画・実施
- ④言語活動を重視した授業の工夫・改善
- ⑤読書活動の推進……朝読書、図書室の有効活用と利用者数の増加
- ⑥家庭学習の習慣化……家庭学習の手引きを作成し、その活用
- ⑦教科の連続性、つまずきの解消等を図るため小中連携を強化
- ⑧東京ベーシックドリルの活用
- ⑨学力テストの分析を行い、授業改善を図る。

(2) 生活指導を充実させるために

- ①基本的な生活習慣の定着……全体指導の徹底
- ②集団生活における規律の徹底
- ③児童理解を深め信頼関係の構築に基づいた指導(体罰禁止)
- ④いじめを許さない指導の徹底
- ⑤教育相談室との連携とその活用、不登校生との減少
- ⑥S C、教育相談機能の有効活用
- ⑦情報の共有化と協働実践(定期的な情報交換、指導の徹底)
- ⑧校内特別支援委員会の活性化
- ⑨犯罪被害防止、防災教育等の安全教育の充実

(3) 豊かな心の育成のために

- ①道徳の年間指導計画に基づいた指導の徹底
- ②道徳教育の要が道徳の授業であることの徹底
- ③道徳の授業の工夫と副読本の活用
(道徳的心情、判断力、道徳的価値の自覚を高める工夫)
- ④計画的な学級活動の企画・運営

(学級活動を通した豊かな人間関係づくりの工夫)

⑤体育的行事・文化的行事を通し道徳的実践力の育成

(成就感、満足感、感動の体得、学級の団結等)

⑥自尊感情を高める指導の工夫

⑦自己有用感、自分の居場所を体感できる場の設定

2 自己評価の総括

(1) 重点課題の自己評価については

①基礎学力の向上については、上記の取り組みを行った。保護者のアンケート調査「学校は、基礎的・基本的な学力や体力を向上させるために工夫して取り組んでいる」の結果は80%を超える肯定的な結果となっている。また、全国、都の学力調査の結果からみるとほぼ達成できたと判断する。

②生活指導の充実については、生活指導部を中心に組織を機能させて、上記の取り組みを行った。「挨拶をする」「時間を守る」「身だしなみに気をつける」「素早く行動する」「ルールを守る」の頭文字をとった「あ・じ・み・す・る」を周知徹底し、実行させるようにした。「あ・じ・み・す・る」という言葉が先行し、実行が伴わない面が見られた。保護者のアンケート調査「学校は、生命や相手を思いやる心、社会のルールを守る態度を育てようとしている」の結果は80%を超える肯定的な結果となっている。このことから良い取り組みができたといえる。

③豊かな心の育成に関して道徳教育、行事を重点に取り組んだ。保護者アンケート調査「学校は、生命や相手を思いやる心、社会のルールを守る態度を育てようとしている」の結果は80%を超える肯定的な結果、「学校は子どもが達成感や満足感をもてるように学校行事を工夫している」の結果は90%近くが肯定的な結果となった。

しかしながら、自己肯定感、自尊感情を測る調査では学年を追うごとに低くなるとともに全体的に低い結果となっている。いろいろな場面での成功体験を味あわせることの必要性を感じている。

3 自己評価に対する改善策

(1) 自己評価に対する改善策は以下の通りである。

①基礎学力の向上については、

- ・教科授業時数の確保と教師の授業力の向上が大事であると考える。
年間総時数の増加とOJT、外部講師を招聘しての授業研究を行う。
- ・学習指導補助員、学習ボランティアを有効活用し授業に集中させる。
- ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る。

②生活指導の充実については、

- ・「あ・じ・み・す・る」を率先垂範で実践していく。
- ・基本的な生活習慣、授業規律の確立を統一指導で徹底する。
- ・安全教育プログラムの計画的な活用を図る。

③豊かな心の育成

- ・褒めて伸ばす指導を奨励し、成功体験を増やす活動を行う。
- ・道徳の授業力を高め、児童の道徳性を高める。

4 学校関係者評価の総括

(1) 保護者による学校評価

家庭数253でアンケートの回収が98%と高い回収率であった。昨年度は回収率70%であったため、英語版の作成、担任の催促等、回収率を高める工夫を行った。

しかしながら、どの項目も昨年度の結果より数%肯定的な回答が低下した結果となった。ほぼ全員からの意見が反映されていると考える。

①学校に行くのを楽しみにしている

肯定的回答：83% 否定的回答：16% 不明：1%

②教育方針を分かりやすく伝えている

肯定的回答：80% 否定的回答：17% 不明：3%

③基礎的・基本的な学力や体力を向上させるために工夫して取り組んでいる

肯定的回答：84% 否定的回答：13% 不明：3%

④通知表は学習や生活の様子が分かるように工夫されている

肯定的回答：79% 否定的回答：18% 不明：3%

⑤生命や相手を思いやる心、社会のルールを守る態度を育てようとしている

肯定的回答：80% 否定的回答：15% 不明：5%

⑥個人面談や保護者会など、保護者と話し合う機会を大切にしている

肯定的回答：83% 否定的回答：16% 不明：1%

⑦子どもの状態や状況を把握し、適切に対応している

肯定的回答：77% 否定的回答：16% 不明：7%

⑧子どもの学習・生活・その他について保護者との連絡を丁寧に行っている

肯定的回答：78% 否定的回答：19% 不明：3%

⑨児童の安全を守るための対策をとっている

肯定的回答：85% 否定的回答：14% 不明：1%

⑩子どもが達成感や満足感をもてるように学校行事を工夫している

肯定的回答：87% 否定的回答：11% 不明：2%

⑪算数少人数指導で効果をあげている

肯定的回答：53% 否定的回答：13% 不明：34%

(2) 学校評議員による学校評価

- ・保護者による学校評価について説明し、意見・感想をいただいた。
- ・概ね良い結果といえる。学校の努力を感じる結果である。
- ・「(算数少数指導で効果をあげている。)の結果は本当なのか。自分は算数少数の授業補助員をしているが、一緒にやっていて、教師は分かる授業を工夫し、児童は一生懸命取り組んでいるのにこの結果は厳しすぎる。実態を分かっていないのではないか。保護者に適確に知らせることをしていないのではないか。」という意見が出された。
- ・先般の道徳地区公開講座では工夫を凝らしており、参加者も以前よりも多く参加し、いい話を聞いて良かった。今年は随所に工夫した行事等が見られる。今後も工夫して行ってほしい。

5 学校関係者評価に対する改善策

(1) 保護者による学校評価について

アンケート回収率が高められたことにより、より確実に保護者の意見を反映できるようになったことはその成果といえる。

①学校に行くのを楽しみにしている。90%を超えて欲しかった点である。学級経営が十分でない学級が複数あったことが目標値に至らなかった一因であると考え。学級経営の充実、授業規律の徹底、授業補助員、ボランティアを活用し安定した学級経営、授業が展開できるようにする。

②教育方針を分かりやすく伝えている。学校便り、ホームページ、保護者会等で広報活動を活性化する。

③基礎的・基本的な学力や体力を向上させるために工夫して取り組んでいる。体力については体幹をきたえる取り組みをはじめ持久走、縄跳び等に取り組む。基礎的・基本的な学力の向上には、分かる授業の展開、授業力の向上等教師の資質向上が不可欠である。また、授業時数の確保と学習の定着のための家庭学習の習慣化に取り組む。さらに、小中のつながりを意識した基礎・基本の定着を図る取り組みをする

④通知表は学習や生活の様子が分かるように工夫されている。市共通の通知表を使用しているため改良することが難しい。補助簿的なものの工夫と成長の過程がわかるようなものにしていきたい

⑤生命や相手を思いやる心、社会のルールを守る態度を育てようとしている

学級活動、児童会活動、道徳の授業、行事、朝礼講話等で意識を高めていく。

⑥個人面談や保護者会など、保護者と話し合う機会を大切にしている

face to face で親身になって話せる機会を増やす。担任だけでなく、SC、養護教諭の活用等相談体制を整えるとともに周知していく。

⑦子どもの状態や状況を把握し、適切に対応している。

やや不十分さを感じる。アンテナを高く張ること、早期発見・早期対応が組織的にできるよう生活指導部を機能させていく。

⑧子どもの学習・生活・その他について保護者との連絡を丁寧に行っている

学級日より、学年日より、連絡ノートを有効活用する。

⑨児童の安全を守るための対策をとっている

安全教育プログラムを有効活用するとともに、危機回避能力を育てる取り組みをする。

⑩子どもが達成感や満足感をもてるように学校行事を工夫している

27年度は体育館天井の耐震工事のため、体育館、校庭の使用が制限されるが、今年度と同様な取り組みができるよう工夫する。

⑪算数少人数指導で効果をあげている

調査結果より効果が示されている。便り等の広報活動を活性化し、周知を図る。

(2) 学校評議員による学校評価について

学校評議員からは概ね良い意見が出された。「算数少人数指導で効果をあげている。」の評価が低かったのは、広報活動不足が否めない。保護者会、学校便り、学校ホームページ等を有効活用し、少人数授業の有効性を周知していく。

また、授業公開、土曜授業の回数を増やし保護者、地域住民に知らせる工夫をする。

6 総括的な学校評価

(1) 保護者の学校評価において各項目とも肯定的な回答が概ね80%を超えているので教育活動は良好だったといえる。

スローガンである「安心・安心、明るく元気な福生一小」を考えたとき、「学校に行くのが楽しみである」が90%を超えなかったことが、一番の反省事項である。

また、保護者との連携を密にし、学校の取り組み状況等を周知するための広報活動が不十分だったといえる。